

292

内閣情報部八・二八 情報第三號

日ソ條約を伊歓迎

同盟來電―不發表

ローマ廿五日下午條同盟特派員發

モロトフ、ソ聯外務人民委員が東郷大使に對し國境問題解決の交渉を開始し度き意向を洩らした事及び駐日ソ聯大使館員が栗原東亞局長に對し日ソ不可侵條約締結の意思ある旨を洩らしたとのUP東京電はイタリア各方面で好感を以て迎へられてゐる、若しこれが實現すれば、滿ソ國境紛争も解決されようとの頗る樂觀的な觀測を下してゐるがこの裏には獨伊兩國がソ聯に對して日本との和解が目先ソ聯の外患を絶つ所似なるを説いたものと見られてゐる。

内閣情報部八・二八 情報第四號

成都中央通信新聞電報放送 (二十四日) (朝鮮總督府遞信局聽取)
香港報

(イ)ソ獨不可侵條約締結迫るの報道は最も慎重に成行きを注目してゐた上海人を驚愕せしめた、上海の新聞も亦ヨーロッパのニュースを大々的に取扱つて最近多大の注目を惹いてゐた西部上海の事件を背後に押しやつてゐる。金融市場には有利に反應し、根強く騰貴してゐた金桿相場は一兩(一・三三三オンス)三八五元以下落し、又支那政府の公債は數ポイント上り、元相場も闇市場で著るしく昂騰した。上海の支那紙及び外字紙は最近のソ獨條約締結を好意をもつて批評してゐる、アメリカ人所有の漢字紙「申報」はソ獨不可侵條約の締結によつて日本は一層孤立するに至つたと意見を述べてゐる、「中華日報」は西方の脅威がなくなつたからロシアは益々支那を援助することが出来ること確信し、ソ日國境の緊張は更に悪化するを豫言した、「疑ひもなくソ獨條約の調印は日本軍國主義者の滅亡を意味するであらう」と述べてゐる。一方當地の政界筋も驚愕したが、一樣に右條約の調印は防共協定の終結となり、ロシアは極東に對して全關心を注ぐことが出来るであらうと信じてゐる、凡ての支那紙及び英字新聞は同問題を社説で取上げ、或る

2/3